別紙第１

通　　勤　　届

令和　　年　　月　　日提出

各庁の長　　殿		勤務官署名	
		所在地	
官職		氏名	
住居			

人事院規則９―２４（通勤手当）第３条の規定に基づき通勤の実情を届け出ます。

届出の理由

□1　新規　（□　異動等に伴う通勤経路又は方法の変更の場合）
□2　住居の変更（転居日の通勤　□有　□無）
□3　通勤経路、方法又は駐車場等の変更等
□4　運賃等又は駐車場等の料金の負担額の変更
□5　その他（　　）

□　直前の届出の区間と同一の区間がある
（該当する区間に係る順路欄の□にレ印を付する。）
□　（駐車場等を利用する場合）職員の配偶者若しくは給与法第11条第２項に規定する扶養親族に料金を支払うこととなる施設又はこれに準ずるものとして人事院が定める施設でない

届出の理由が生じた日　令和　　年　　月　　日

順路	通勤方法の別	区間	距離	所要時間	乗車券等の種類	左欄の乗車券等の額	駐車場等の所在地	駐車場等の料金	駐車場等の利用形態	備考
1□		住居　から（　経由）　まで	.　km	分		円		円		
2□		から（　経由）　まで	.　km	分		円		円		
3□		から（　経由）　まで	.　km	分		円		円		
4□		から（　経由）　まで	.　km	分		円		円		
5□		から（　経由）　まで	.　km	分		円		円		
6□		から（　経由）　まで	.　km	分		円		円		
7□		から（　経由）　まで	.　km	分		円		円		

記入上の注意	総通勤距離	.　km	総所要時間	分

１　「届出の理由」欄中「３　通勤経路、方法又は駐車場等の変更等」には勤務官署の所在地が変更したことによる通勤経路の変更を含み、「４　運賃等又は駐車場等の料金の負担額の変更」には勤務態様の変更（交替制勤務から普通勤務への変更等）による負担額の変更を含む。
２　「通勤方法の別」欄には、通勤の順路に従い徒歩、自転車、自動車、○○線、○○新幹線等の別を記入する。
３　「乗車券等の種類」欄には、通勤に使用する乗車券等（定期券（○箇月）、○枚綴回数券、優待乗車券等の別）を記入する。
４　「左欄の乗車券等の額」欄には、通勤に使用する乗車券等（定期券（○箇月）、○枚綴回数券、優待乗車券等）の額を記入する。
５　「駐車場等の所在地」欄には、通勤に利用する駐車場の所在地（○市○丁目○番○号等）を記入する。
６　「駐車場等の料金」欄には、実際に負担する額（駐車の都度その料金を支払う場合等の場合は１回の利用額）を記入する。
７　「駐車場等の利用形態」欄には、１月払い、複数月払い（○箇月）、１回払い、回数券（○枚綴り○円）等の別を記入する。
８　往路と復路が異なる場合は、「備考」欄にその旨と理由を記入する。
９　通勤の実情の一部に変更がある場合は、変更内容に関係のない事項の記入を省略することができる。

給与法第12条第３項又は第４項の規定の適用を受ける職員（新幹線鉄道等利用者）

□1　異動等に伴い、通勤が困難となったことにより新幹線鉄道等を利用することとなった職員
□2　単身赴任手当を受給していた職員で、配偶者と同居し通勤が困難となったことにより新幹線鉄道等を利用することとなった職員
□3　配偶者と同居して子を養育するために転居し、通勤が困難となったことにより新幹線鉄道等を利用することとなった職員
□4　介護のために父母の住居等に転居し、通勤が困難となったことにより新幹線鉄道等を利用することとなった職員
□5　上記３又は４たる職員の要件を欠くに至った職員
□6　その他（　　）

※ 現官署への異動発令年月日	令和　　年　　月　　日	※ 異動等前の住居への入居年月日	令和　　年　　月　　日
※ 異動等の直前の住居		※ 現住所への入居年月日	令和　　年　　月　　日

新幹線鉄道等利用者の新幹線鉄道等を利用しない場合の通勤の経路及び方法等

順路	通勤方法の別	区間	距離	所要時間	備考
1		住居　から（　経由）　まで	.　km	分	
2		から（　経由）　まで	.　km	分	
3		から（　経由）　まで	.　km	分	
4		から（　経由）　まで	.　km	分	
5		から（　経由）　まで	.　km	分	
6		から（　経由）　まで	.　km	分	

記入上の注意	総通勤距離	.　km	総所要時間	分

１　※欄は□１にレ印を付した職員のみ記入すること。
２　「通勤方法の別」欄には、通勤の順路に従い徒歩、自転車、自動車、○○線等の別を記入する。